

# 高城中学校だより

令和5年4月12日（水）校長 飯千 裕二

いよいよ令和5年度が始まりました。4月10日（月）の入学式で76名の1年生を迎える、全校生徒237名（2年生85名、3年生76名）で高城中がスタートします。

高城中は、前年度までの実績を受け継ぎ、今年度も更なる充実を図ってまいります。高城中の教育目標は「自立 貢献」《夢に向かって最善を尽くし、社会に貢献できる自立した人間であれ》です。どうぞよろしくお願ひいたします。

## どうぞよろしくお願ひいたします

今年度、私を含め、新たに9名の職員が高城中学校に赴任いたしました。新任式では、生徒会の 池田 蒼彩 さんから温かい歓迎のことばをいただきました。多くの皆さんから高城中について教えてもらいながら、頑張ってまいります。

○飯千 裕二 校長 ※妻ヶ丘中より	○倉田 和也 教頭 ※小松原中より
○川久保 修 先生 ※西中より	○原田 恵 先生 ※有水中より
○下石 智佳 先生 ※大王小より	○三角 ちほか先生 ※志和池中より
○新田 尚大 先生 ※有水小より	○川畠 真司 先生 ※飯野高より
○高田 芙美 図書館サポーター ※毎週木・金来校予定	

## 生徒の皆さんに伝えたこと

始業式での校長の話及び入学式の式辞にて私の願いを伝えました。どちらとも同じ内容となります。以下の内容は始業式の内容となります。ご一読くだされば幸いです。

本校の教育目標は「自立 貢献」です。しかし、私は自立と貢献の間に、感謝を入れたいです。したがって、「自立 感謝 貢献」となります。具体的に言います。

一つ目の「自立」です。皆さんのがこれから、私たち大人が経験していない、先行き

不透明な社会を切り開いていくためには、自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる力をつけなければなりません。これから自分で何ができるかをしっかりと考えて、正しいと思ったことは、具体的な行動として見せてください。

2つ目の「感謝」です。皆さんがこれから自立していくためには、必ずたくさんの失敗をします。しかし、失敗してもよいのです。それが君たちの特権だと思います。そんな時、多くの人と関わることが必要です。そして、「自分が分かるようになつた。できるようになった。」時、その背景には、多くの人の関わりのおかげであるという、感謝の気持ちをもって欲しいと思います。

3つ目の「貢献」です。自分ができるようになって、有り難いと思ったら、次に、自分に何かできることはないかという、気持ちが生まれると思います。その気持ちをボランティアや奉仕活動など、「貢献」という具体的な行動として現してみましょう。

何かに、誰かに貢献し、喜んでもらえた時、きっとまたひとつ成長した自分に出会えるはずです。

私は、「自立 感謝 貢献」の3つが1セットだと考えています。今後は、様々な教育活動において、生徒の皆さんに、この1セットを経験できる取組を展開していきたいと思います。

## 結縁(けつえん)・尊縁(そんえん)・隨縁(ずいえん)

### ○縁とは・・・

そのような巡り合わせ。関係を作るきっかけ。人との関わり合い。

### ○結縁(けつえん)、尊縁(そんえん)、隨縁(ずいえん)とは・・・

ご縁を大切にし(尊縁)、逆らうことなく、自然に従って(隨縁)いけば、おのずから結ばれていく(結縁)。人生とは、人とのご縁の連続であり、だからこそ人の出会いを大切にしなければならない。〈元首相 中曾根康弘氏〉

「縁」とは本当に深い意味がありますね。この4月、縁あって、新しいクラスの友達と出会うことができました。縁あって、高城中学校に入学しました。「縁あって・・・」ですね。何かの縁あって、出会った237名。これからどんなドラマが待っているのか。さあ、令和5年度のスタートです。